

## DAkkS 認定（ドイツ認定評議会）及び GMP+ 認証について

これらの認定ルールおよび条件は、認定の対象、範囲および価格を指定した、受け入れられたオファーおよびクローズド契約に基づいて、お客様と URS 認証機関との間の契約関係を管理します。これらのルールおよび条件は、DAkkS 認定機関の国際的に認められた条件を満たしています。

### 用語の説明

認定 - クライアントの確立された基準の検証と、通常は 3 年のサイクルで証明書の発行につながる認定プロセス。認証監査 - クライアントの確立された基準の検証および審査員 - クライアントに訪問し、監査に関する報告書を書くことによって認証審査を行う者。クライアントが企業内で確立した要求事項を満たす標準要求規格。監査報告書 - これは通常、3 年サイクルで行われる。認定機関が認定を実施したことの確認であり、認定機関が認定を受けていることを証明するものです。初期段階 - これは、3 年間の認証プロセスが始まる認証プロセスのエントリーフェーズです。モニタリング監査 - 監査人が与えられた基準の検査を繰り返し行う毎回の訪問。再認証 - その後のサイクル、通常は 3 年間です。これは前回のサイクルに続き、通常は 3 年も続く

### URS の権利と義務

URS は、提供されたサービスに関連する法的規制に従って、可能な限り最大のプロフェッショナル・ケアを行いながら、締結された契約に従って、適切かつ時間通りにサービスを提供する義務を負っています。締結された契約に従ってサービスの提供中に発見され、サービスの提供に影響を及ぼす可能性があるすべての事実および状況。URS は、活動の実施中に発見したすべての事実および手続を定期的にクライアントに通知し、契約の主題の成功した実現とクライアントの指示の変更に影響を与える可能性があります。認証を手配している間に、URS は合意された方法でサービスの適切な実現を妨げる障害を発見した場合、直ちにこれをクライアントに報告し、その障害者の除去に同意するものとします。クライアントの活動の特定の分野に適しています。ただし、URS は、独立性と公平性を確保するため、または予期せぬ事態により、指定された監査人が利用可能であることを保証できない場合に、監査人/監査人を変更する権利を留保します。クライアントが事前に熟知しなければならない他の人を招待する権利を有し、URS はこれを書面（電子メール）で要求しなければならない。URS は、費用を請求することができ、その費用は管理経費について決定する。申請者は、該当年度に有効な料金表に従って、GMP + INTERNATIONAL 登録料を支払うことを誓約します。URS は、顧客が過度に煩わされないように、電話または電子形式の問い合わせによって顧客の満足度を測定する権利を有します。

## 顧客の権利と義務

お客様は、本契約の重要な履行に不可欠な適時、完全、真実かつ明確な情報を URS に提供する義務がありますが、その性質上、URS がその活動の一部としてそれを保証する必要があることが示されている場合を除きます。URS の活動のための適切な条件、および契約の履行中に必要な協力を URS に提供することを要求します。顧客は、認証中に存在する特定の人物を指定し、クライアントは URS 審査員と協力します。お客様は、認定に影響する可能性のあるすべての事実を URS に通知し、認証または認定の規則に必要な規範の要件を引き続き満たしていることを義務づけられます。通知は、システムの変更が多大な場合は、直ちに書面で行う必要があります。例えば、変更が法的、商業的または身体的な状態または所有権に関連する場合、主要経営陣の変化連絡先と施設の変更。認定/登録管理システムが対象とする業務活動の範囲の変更。管理システムおよびプロセスシステムの大幅な変更が含まれます。前述の重要な変更を除けば、次の計画的な評価/検査訪問の際に、URS の代表者に他の変更を報告しなければなりません。URS の要請により、URS は、勤務時間中に、手続、プロセス、試験方法、記録及びシステムを検査するため、又は証明書の正当性の終了手続が実施されたかどうかを確認するために、認証が行われた事務所等を含む。システムの承認のために、顧客は、主任任命者が欠席している場合（および必要に応じて交代した任命者）に行動する権限を与えられた 1 人または複数の代表者を指定し、URS の適切な代理人に報告される証明書の要件との関係、および必要に応じて、URS 代理人の訪問ごとに宣言に署名しなければならない。顧客は、顧客による苦情を含む証明書を保持します。顧客は、認定機関または GMP +国際標準の所有者が証人監査および/または並行監査に参加することを許可するものとします。管理システムまたは体制上の変更により、お客様はシステムのドキュメントを更新し、責任ある URS マネージャーに会社のシステムまたは構造のすべての重大な変更を通知する義務があります。これには主に、認証の対象に関連する変更、または認証された地域の新しい代理人の任命につながる変更が含まれます。顧客は、認証された活動に関連するすべての変更を監査人に通知し、最後の監査以降に採用する必要があります。

## 達成の場所

認証審査の実施に必要な事実は、URS によって評価され、確認されなければならない。

評価された身体化の本部では

身体化の別の職場では

監査の日付は、URS と顧客との相互合意の後、常に規定されるものとする

証明書は、監査承認報告の日から 2 週間以内に URS によって発行されます。

## 認証と審査の監視

URS は、認証または監視監査の目的で、合意された監査計画に従って顧客に代理人を送付しなければならず、URS は顧客に通知するものとする。これらの訪問は、通常、認証によって課せられた義務が遵守されているかどうかを検証する目的で、1年に1回または2回開催されます。最初のモニタリング監査の場合、訪問は証明書の決定日から12ヶ月後に行われてはならない。URS は、公開されている情報を除いて、機密情報のクライアントに関する情報を共有しません。認証された身体化が繰り返し規則を遵守しない場合、URS は証明書を一時停止または撤回するか、証明書の発行または更新、またはその内容の拡大これらの決定およびその理由は、書面によりクライアントに通知されるものとし、停止または撤回の理由には、以下のものが含まれます: 認証規格(ISO 14001、OHSAS、ISO 27001 およびその他)の範囲内で自分自身を拘束している分野で、これらの規制を遵守しなかったこと。認証管理システムの効率性を維持するための要件を含む、認証要件の永続的または重大な違反。要求された頻度または顧客の要請で監視監査または再認証監査の防止。停止または監査/訪問中に合意された締め切り期限(6ヶ月を超えてはならない)による停止または強調された問題の解決の失敗、または認定された身分証明書または証明書申請者が、URS 代理人の決定に対して不服を申し立てたい場合は、この決定について正式に通知されてから21 暦日以内に独立した認証審議会に提出することができます。不服申し立ては、書面による通知の形式で提出することができます。規則にしたがって設立された控訴委員会の会合は、この通知を受領してから30日以内に行われ、控訴人には少なくとも7日前までにこの会合の時間と場所が通知される。監査人、評価者または請負業者は、義務を履行する目的で顧客を訪問する場合、顧客は適切な個人保護装置(PPE)を提供し、作業を開始する前に適切な訓練と指示を提供する必要があります。顧客は、監査人、検査官または評価者が、顧客の明示的な監督および指示なしに機器を操作しないように義務付けられている。監査および勧告の間、調査結果の責任は問われない。顧客は、監査が実行されています。URS はまた、上記の発見された整流手段の実施に責任を負わないものとする。URS が第2段階の最終日から6ヶ月以内に重大な不適合の修正および是正措置の実施を検証できない場合、認証機関は、お客様は、URS 発行の請求書が書面または電子形式のいずれかで送付されることに明示的に同意します。電子形式とは、主に電子郵便、電子メール、ファックスまたは公的なデータネットワークであると理解されています。お客様はまた、発行された請求書を電子形式で送信する連絡先電子メールを URS に提供することを約束します。

## 審査報告書と認証書

締結された契約に従って、認証プロセスが終了した後、URS は監査報告書を作成し、クライアントに提出するものとする。監査報告書は、クライアントから電子形式で電子メールに送られなければならない。本契約に従い、監査報告書の提示および顧客による請求書の支払い後、URS は、証明書/証明書は発行日から3年間有効です。クライアントの名前/事業名は、証明書/証明書

の有効期間中、URS ウェブサイトに表示されます。

#### 認証サービスの期間と方法

認定サービスの契約は、契約が有効になる日から3年間である一定の期間、常に締結されます。契約者のうちの1人が、契約終了後120日以内に、契約延長契約書の書面による異議を他の契約当事者に送達しない限り、契約は自動的にさらに3年間延長されます。この契約の条件では、書面の変更を行わなければなりません。URS とお客様は、いずれかの当事者が基本的な方法で契約違反をした場合、締結された契約から撤回する権利を持ちます。その場合、相手方当事者は過度の遅滞なく契約を解除することができる。基本とは、契約を締結する前に契約違反の当事者が知っていた条件の違反、または違反を予見した場合に相手方が契約を締結しないことを知っていなければならない場合である。それ以外の場合、違反は基本的なものとはみなされません。これは、契約上の罰金の支払いに資格には影響しません。契約からの引き出しは書面で行わなければなりません。それ以外の場合は無効です。撤回は、それが他の契約当事者に納入された日から有効です。契約からの撤退は、最初からコミットメントを廃止する。

#### 機密保持規程

提供されるすべての情報は厳密に機密扱いとされ、認証機関を除き、GMP +国際規格の認定機関または所有者が該当する場合は、お客様の同意なしに他の当事者に開示されません。機密保持義務は、開示当事者が既に所有している、または公的にアクセス可能な情報、または本契約の対象に関するコミットメント関係に参加している当事者とは独立して取得された情報、または制限。前述の規定にかかわらず、秘密とはみなされない情報は、受け取った当事者がこれを故意に、または省略によって引き起こさずに、そのような情報が情報の保護に関する別の、以前に締結された契約の対象ではない場合、この契約の締結前に受領当事者の処分合法的にあった。受領当事者がそれを独立して取得し、その記録または第三者の機密情報でこれを実証することができる訴訟の結果であり、第三者が本契約に署名した後に受領当事者に提供されると同時に、それを所有する当事者から直接的または間接的にそのような情報を取得しない。URS は、認定されたクライアントに関する公式アクセスの Web サイト情報を公開します。認証機関が法律で要求されている場合や契約上の取り決め(認定機関など)によって機密情報の公開が許可されている場合、関係するクライアントまたは個人は、法律で禁止されていない限り、URS はこれらの情報を提供します。

## 認証書及びロゴ使用について

顧客は、製品、プロセス、サービスまたは会社が URS による審査/評価を受けたことを公衆に知らせる権利があり、証明書に関連する販促資料に適合記号を使用する権利も与えられます。お客様は、プロモーションおよび広告資料に記載されている情報が十分に明確であること、および認定されているプロダクトプロセスおよび/またはサービスが明確であることを確認する必要があります。顧客は、製品、プロセス、職場または会社が実際には認定されていないと間違って信じるという主張に基づいてクレームを提示してはなりません。GMP +の認定を受けている企業は、GMP +インターナショナルの GMP +ロゴを使用する権利があります。GMP +に準拠して認定された企業は、GMP + INTERNATIONAL 本体で規定されている条件を守る義務があります。顧客は、入場審査中および証明書の授与中に、詳細な規則と認定ロゴを正しく使用するオプションを詳述するものとする。証明書の有効性の終了後(何らかの理由で)、クライアントは、関連するロゴおよびロゴまたはそれへのリンクを含むすべての広告資料の使用を中止するものとし、独立した認証審議会が要求する場合は、証明書の発行に必要な他のすべての資料またはクライアントの所有文書を破棄しなければならない。URS は、証明書の正しい使用に関連する適切な措置を講ずることができます。証明書への誤って記載されたリンクまたは広告目的のために誤った方法で使用された証明書、パンフレットなどの場合、法的または是正措置、または特定の犯罪の公表を含む適切な方法で処理されるものとし、顧客は、URS シンボル、認定シンボル、または GMP +シンボルが誤って使用されたことを URS に通知することがあります。彼らの通知は秘密とみなされるものとする。

## 早期警告システム(GMP +認証)

汚染物質の規定レベルに準拠しなかった場合、お客様はこれを報告し、汚染の確認から 12 時間以内に、認証機関、適切な当局、GMP + INTERNATIONAL に報告する義務があります。お客様が URS が提供するサービスに関する不服申し立てを希望する場合は、電子メール、書面または電話で行うことができます。連絡先は、URS のウェブサイト([www.urs.holdings](http://www.urs.holdings))に掲載されています。すべての苦情は適切に記録され、調査され、必要と考えられるすべての是正措置は、適切な時間内に告訴人に伝えられなければならない。以下の理由により、認証要件を満たさないことの通知が発行されます。

エントリー監査中に発見された認証要件を満たすことができず、監査やその他の監査を監視する管理システムの不備。

証明書の欺瞞的または不適切な使用。

認定機関のロゴ、認証機関のロゴ、または GMP +ロゴの欺瞞的または不適切な使用。

お客様は、URS の決定に異議を申し立てることができます。不服申し立ては、認証要件を満たすことができなかつた旨の通知を受領してから 14 日以内に、責任ある URS マネージャーに注意を促して、書面で会社に提出する必要があります。すべての控訴は ICB(独立委員会委員会)に委ねられています。責任者は ICB 委員会に、認証要件を満たすことができなかつた旨の通知を出す決定

を裏付ける証拠を習得しなければならない。会社/ボディーライゼーションが委員会メンバーが公平ではないと考えている場合、お客様は、特定の苦情を解決するために ICB 委員会の特定のメンバーの参加に対して異議を述べることができます。上訴を提出した当事者は、自己の費用で個人的に事件を報告することもあります。ICB 委員会の決定は、会社と URS の両方にとって最終的かつ拘束力があります。GMP + 委員会の決定は上訴できません。控訴の決定は、控訴の受領後 4 ヶ月以内に行われるものとする。証明書の付与または有効性の更新につながる、上訴が成功したことに関連する費用の払い戻しは、ICB 委員会によって決定されるものとする。

## 一般規定

契約当事者間の契約関係は、契約当事者双方が署名する時点で有効かつ有効となる。この日、URS とお客様は意志の表明に拘束されます。お客様は、署名された契約書を URS の電子メールアドレスに送信するものとします。URS とお客様は、締結された契約の内容に精通しており、そこに含まれるすべての条項が本意と自由意思に対応していること、契約は強迫、未熟、知的弱点、不安または不注意、または強要の下、または明らかに不利な条件。URS は国際市場でのサービスを提供しており、認定された地域担当者によってさまざまな地域で代理されています。地域代表者は、URS スキームオフィスと顧客との間のコミュニケーションを仲介し、認証監査の過程を体現するのに役立ち、認証監査と GMP + 登録に関連する URS に代わって手数料を徴収する自然人または法人です。自分のアカウント。URS GmbH は、認定条件に従って、クライアントの認証と認証監査の決定を担当します。URS GmbH は、この責任を第三者に委任してはならない。これらの規則および条件の規定は、URS の範囲内で、地域代表者を含む認証プロセスに参加するすべての労働者に関連しています。法的紛争は、EU の法令(欧州連合)に従って処理されます。